

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



2017年
12
月号

目次

☆高浜ビル取り壊しに伴う風の子引っ越し問題について

☆活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

☆夕会便り、港区民まつりの感想

・・・・ 3

☆ヒューマンプラザ祭りの感想

☆寄付のお礼・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

☆クラブボランティア募集

☆牛乳パック募集・・・・・・・・・・・・ 5

☆初詣ボランティア募集

☆風〇〇サスペンス劇場（田中連載）

・・・・ 6

☆バリアフリーよもやま話

第65回「排泄予知装置」（岡本連載）

・・・・ 7

☆メンバーのつぶやき、恵司のつぶやき

・・・・ 8

☆さよなら高浜荘（写真集）・・・・ 9

☆さよなら高浜荘（写真集）・・・・ 10

☆さよなら高浜荘（写真集）・・・・ 11

☆さよなら高浜荘（写真集）・・・・ 12

高浜ビル取り壊しに伴う風の子引っ越し問題について

移転の日程について

先月号でお伝えしました引越の日程ですが、正式に決まりましたので皆様にご報告いたします。日程は、12月23日（土）、24日（日）に決定しました。23日（土）は旧実習所にて梱包作業をおこない、24日（日）は搬送、及び新実習所にて開梱作業となります。

いよいよ引越までカウントダウンが始まりました。高浜実習所での活動もあとわずかですが、メンバー、職員ともに悔いがないように過ごしていきたいと思います。

●12月25日（月）以降の新しい連絡先

住所 〒108-0022 東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階
電話番号 03-6809-4001
FAX番号 03-6809-4002

移転プロジェクト：岡本裕介



活動報告

7日（土）～8日（日）

芝公園で行われた区民祭りに参加希望メンバーと職員・ボランティアさんで販売してきました。7日は雨が激しかったので午前中は実習所で待機して昼食を摂ってから会場に赴きました。午後からにも関わらずそれなりの売り上げを得ることができました。

13日（金）・16（月）

両日医師に訪問してもらって、当日の通所メンバーと職員がインフルエンザの予防接種を受けました。

29日（日）

ヒューマンプラザ祭りに赴きました。当日は雨だったので客足が伸びず売り上げも芳しくありませんでした。

31日（火）

実習希望の女子が1名親御さんと先生とともに来られて所長が説明していました。

三木 直人

夕会便り

11月4日土曜日、風の子会で夕会がありました。

テーマは風の子会の帰宅時間です。「遅く帰りたい。」という意見の人や、「5時に帰りたいです。」という人、いろいろな意見が出ました。メンバーの一人が言いました。「冬は短く、夏は長いみたいです。」面白い意見だと思いました。

柳川 敬事



夕会の様子だよ！
みんなで輪になってそれぞ
れの顔を見ながら話合っ
てるよ！

みんな真剣に
話し合ってるね・・・



港区民まつり感想

10月7日土曜日と8日日曜日、芝公園で開催された港区民まつりに参加しました。7日土曜日は雨が降りました。その為、私たち風の子会が高次荘で待機しました。みんなでノリ弁を食べました。おいしかったです。午後から芝公園へ行きました。田中先輩と一緒に本と洋服を販売しました。お客さんは少ししか来ませんでした。

お客さんは本を買ってくれました。嬉しかったです。私は前の風の子会職員山名さんと散歩しました。ウメ酒とあんパンを買いました。私は田中先輩と飲み物を飲みました。私はオレンジジュースと梅酒を飲みました。田中先輩はビールとお酒を飲んでました。8日日曜日はいい天気でした。私は熱冷シートをおでこに張って頑張りました。お客さんは来ました。品物を見て買ってくれました。嬉しかったです。私は佐久間さんと一緒に行動しました。お昼は幕の内弁当を食べました。おいしかったです。休憩の時にあんパンを食べました。お土産も買いました。兄、喜びました。

柳川 敬事

ヒューマンアザ祭り感想

10月29日日曜日、ヒューマンアザでお祭りがありました。

私たち、風の子会は7階で品物を販売しました。わたしはお客さんに声をかけました。

お客さんはカバンを買ってくれました。カレンダーのチラシも配りました。お昼は職員の秋葉さんとなりました。秋葉さんはフランクフルトとカレーライスを食べました。わたしは焼きそばを食べました。午後から秋葉さんとスタンプラリーをしました。血圧計が当たりました。皆さんも元気でした。後、7階に港区長さんが来ました。私は港区長さんと握手しました。

柳川 敬事



寄付のお礼

國枝 三代子様、小野塚 満郎様
井出 義文様

ご寄付下さり

ありがとうございます



クラブボランティア募集

あなたに手伝ってほしいこと(クラブ活動)

毎月一回、最終土曜日午後1時00分～4時30分まで、クラブ活動を行っています。

その内容は

①、料理クラブの手伝い(調理・買い出し・片付け)

②、マージャンクラブの手伝い(教えてくれる人・一緒に参加してくれる人)

③、プールクラブの手伝い(服の着替え・一緒に泳いだり、付き添いをする)

④、手芸クラブ(デザインを考えてくれる人・一緒に作ってくれる人)

皆さんの空いた時間で良いので、ご協力をよろしくお願いしま～す!!!



牛乳パック募集

風の子会では、牛乳パックを使用して主力製品のひとつである「はがき」や「コースター」などを作って販売しています。しかし、その牛乳パックが不足しており困っています。そこで皆様からの牛乳パックを大募集しています!!どうかよろしくお願い致します!(牛乳パックは開いてお持ちいただけると助かります。)

特定非営利活動法人 風の子会

〒108-0075 東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜302

TEL:03(3474)9674



初詣ボランティア募集

また成田山!?

来る2018年、風の子最初のイベントは初詣。
去年の失敗に懲りずにまたしても成田山を目指します。
失敗は成功の素というように、今度こそ実りある初詣にするべく頑張ります。



そこでみなさんにおねがい!!

初詣に参加してくれるボラさんを大・大・大募集中です。

メンバーと一緒におでかけして、おいしいもの食べて、おみくじなんかひいちゃったりしちゃうたりしませんか?

あなたが来てくれれば楽しい初詣になること間違いなしです。

2018年1月13日土曜日予定です。

興味がある方は、風の子までご連絡下さい。



御連絡お待ちしております。
是非、来年も
よろしくお願いいたします!



風〇〇サスペンス劇場

不審に思ったユースケとシンイチは、タカコが住む部屋を出て行く。そして、タカコが住んでいるマンションから出た直後ユースケの携帯に一本の電話が、「もしもし、私警視庁港南署のマツモト・ケイジと申しますが、タカコさんが働いている「レインボー・チルドレン」のユースケさんですか? 実はタカコさんが辻のれで焼死体で発見をされ、人命救助を行っているところで。これから病院に搬送します」という電話だった。連絡を貰ったユースケは、シンイチを連れて「芝浦日清ホスビタル」へ向かった。そして、ユースケとシンイチは「芝浦日清ホスビタル」へ到着をし、受付の職員に声をかけ霊安室へ向かった。

SATOSHI・TANAKA

バリアフリーよもやま話

第65回 「排泄予知装置」

岡本 明

いきなりナンですが、あなたは大人になってからお漏らししたことはありますか？ そんなことはないと言われる方も多いでしょうが、そういう人でも年をとると、もよおしたらもうすぐに緊急状態になって、間一髪！ ということも増えてきます。外出時にもいつ便意をもよおすか分からないので、頻繁にトイレへ行って備えるという人や、外出や旅行を控えてしまうという人もいます。

介護老人施設などでは誰かが失禁すると、職員は着替えやシーツ替えなどでしばらくはその人につきっきりになってしまいます。その間にもほかの入所者から呼び出されたりすると、夜間など職員が少ないときにはとてもすべてに対応しきれない状態となります。そこでおむつをしてもらうことも多いのですが、それによって入所者が寝たきりになってしまうケースもあるそうです。入所者がいつトイレへ行きたくなるかが分かれば、早めに対応できて失禁も減り、おむつにすることもなく、職員も大いに助かるといいます。

若い人でも、障害によって便意を感じなくなってしまうためにいつトイレへ行けばいいか分からない人もいます。たとえば、個人差はありますが脊髄損傷の人は便意がないことが多く、排便のタイミングを知ることはとても大切です。「あと〇〇分後」と分かれば、トイレに行く準備ができるし、介助が必要な人は早めに介助者に伝えることができます。



トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社代表取締役の中西敦士さんはこのようなニーズに応える、**DFree** という排泄予知装置を開発しました。**DFree** の「D」はおむつの英語 **Diaper** の頭文字で、おむつからフリー（解放される）、を意味するそうです。

DFree 本体は写真（トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社様から提供していただきました）のように小さく、重さは **70** グラム。センサー部分を下腹部に付けていると、センサーは膀胱のふくらみ具合を超音波で検出して無線で本体に送ります。本体ではそれを分析して、尿が一定量になると本人や介護担当者のスマホに振動などで通知するのです。

中西さんはビジネスを学ぶためにアメリカの大学に留学していました。あるとき荷物を運んでいたところ急激な便意に襲われ、“堤防大決壊”になってしまったのです。「僕はこの大事件の後、しばらく外出を控えて家に引きこもりがちになりました」ということで、中西さんは、同じ悲劇を繰り返さないためにはどうすればいいか考えつづけ、思いついたのが、何分後に出るのかを予知することができれば、余裕をもってトイレを探せる、ということでした。そして「排泄の悩みを解消することは、社会的に大きな意義がある。これを自分の一生の仕事にしよう」と、会社を設立して装置の開発に踏み出したのだそうです。この発想と決断はすごいですね。

DFree は経済産業省主催の「**ジャパン・ヘルスケアビジネス 2017**」でグランプリを獲得するなど、国内外の注目を集めています。

風の子会でも、急に「トイレ」といわれて慌てなくてもいいようにしたり、「トイレ」と言っているのかどうか分からないで迷ったときに判断するのに使えるかもしれませんね。

メンバーのつづき

僕は、風の子会入って約二十年になります。

その間、僕がこの高浜実習所での思い出があり、メンバーとの出会いと別れや職員との出会いと別れの繰り返しで、そして沢山のボランティアさんに見守られ、ここまでやってきました。

誇りです。これから、新実習所へ移転をします。

どのような新しい出会いになるのか今からワクワクしちゃうなあ。

田中 聡

10月は、台風が2つも本土に上陸して憂鬱な気分が続き、あまり外出できませんでした。小雨程度なら良いのですが、風も加わっていたので危険を感じて自宅にこもっていました。

話は変わりますが、一年に2度引っ越しを経験した人は、あまり多くはないのではないのでしょうか。私は今年経験しました。1度目は自宅建て替えのため（約1年半の予定）、もう一つは風の子の一時的移転のためです。自宅の建て替えは数年前から計画されて具体的になったのがここ最近でたまたま風の子の引っ越しと重なっただけの話なのですが、ちょっとつづやってみました。

三木 直人

「障害者はハンディを背負って生きているので大変だ。そんな中で必死に頑張っているのは素晴らしい。えらい！」
「え、いや、俺、そんな頑張ってる訳じゃないんすけど・・・」
ここまでははっきりと言われたことはあまりないけれど、相手からこういう印象を受けることはたまにある。すべての障害者が四六時中頑張っているとは思わないし、健常者と同じように怠けたりいいかげんだったり、時にはふざけたりもしている。どうして障害者は頑張っているという先入観が失ってしまっているのだろうか。どうして障害者だから頑張らなければならないのだろうか。それはやはり、障害者と健常者が対話する場と機会が圧倒的になさすぎるからだと思う。少しでも話すことができれば、障害者も普通の人間なのだということがわかるはずだ。金髪のふざけた障害者がいるということだって、わかるはずだ。みんなもっと語り合おう。わかりあおう。そうすれば不必要な先入観も無駄な誤解もなくなるはずだ。誤解と偏見がなくなれば、不都合な諍いもなくなるはずだ。

そういう場所に、風の子は適していると思うのだけれど・・・

小野塚 航

恵司のつづき

職員さん、風の子お帰りなさい。

職員さんは風をひいてあなおりまあす。

安静をして欲しいです。

けいじ



ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

和柳松田小太
栗川本村野田
顕 塚
太敬恵亮 圭
郎事司彦航子

幸三塚田太
木田中田

高直愛
史人基聡稔

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075

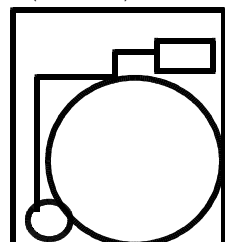
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階

TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21



さよなら高浜荘

カナルサイド高浜3F・・・

そこには、巷で有名なNPO法人風の子会がありました。
息子が通所して18年と、年月が過ぎました。
高浜にはいろいろな思い出があります。
また、出会いの場所でもあります。
ありがとう高浜、さようなら高浜。
いろいろな思いを込めて・・・・。

風の子会会長 田中 あけみ



今まで600

さよなら高次荘



ありがとうございました！

さよなら高浜荘



高浜荘!!

さよなら高浜荘



お世話になりました!!